








問い合わせ報告書

令和2年9月23日記入

決裁	部長		次長		課長		課長補佐		係長		係		
日時	令和2年9月23日(水)							会議名	/				
場所	/							記録者	山田				
問合せ先	横浜市水道局 給水サービス部 給水維持課 佐川氏										資料	/	
目的	9月議会の答弁内容の確認について												
内容	<p>1. 答弁内容の確認について</p> <p>令和2年9月17日に横浜市水道局に確認した「核磁気共鳴（NMR）工法による口径50mm配水管における残留塩素減少防止効果の検証」報告書の内容をもとに、9月議会の答弁書を作成し、9月23日に内容確認を電話とメールで横浜市水道局へ依頼した。同日、横浜市水道局より、一部表現を修正した案がメールで返信された。</p> <p><答弁修正案></p> <p>横浜市水道局に聞き取りを行ったところ、「核磁気共鳴（NMR）工法による口径50mm配水管における残留塩素減少防止効果の検証」では、実証実験をした2か所の配水管（水道本管）は、『実際に運用中の口径50mmの硬質塩化ビニルライニング鋼管に防錆装置を設置した下流側における、残留塩素濃度への影響は確認できなかった。この結果は、硬質塩化ビニルライニング鋼管の腐食箇所は主に継手部分のみであったため、「残留塩素」と「鉄分値」に与える影響が少なかったためだと考えられる』ということが結論であり、NMRパイプテクターのパフォーマンス（効果）を評価したものではないとのことを確認しています。</p>												